

■市内3大学生「まち・ひと・しごと」政策提案発表会について

1. 概要

平成 26 年 11 月に成立した国における「まち・ひと・しごと地方創生法」を受け、同法に基づき創設された国の交付金を活用した事業の一つである。

本市の人口動向の特徴のうち、性別・年齢階級別の状況として、25 歳から 29 歳までの若年世代の男性が大幅な転出超過となっている現状から、これらの年齢層が市内に留まるための事業として、市内に立地・隣接する日本大学生産工学部、東邦大学習志野キャンパス、千葉工業大学の協力のもと、学生が地域課題の解決に取り組む機会を設け、まちづくりへの参画をとおして、学生の本市に対する愛着の醸成、定着の促進を図ることを目的に開催したものである。

2. 発表と審査

発表会は、ポスターセッション形式（提案内容を掲示し、聞き手が自身のグループのパネルに立ち寄った際、説明を行う形式）により行い、学生が来場者に幾度となく説明、意見の交換を行った。

また、審査は、事前審査とし、市職員と 3 大学関係者が審査員として、「公益性」や「実現性」などの評価と共に、発表会当日に向けたブラッシュアップのための留意事項等の意見を付し、学生にフィードバックする方法とした。

なお、表彰については、提案内容を本市が取り組んでいる基本計画の施策体系に照らし、全ての提案に賞を授与した。

3. 提案概要

学生からの提案は次の 7 つで、1 グループ（2～5 名）により検討いただき、平成 27 年 11 月 22 日（日）に、サンロード津田沼 6 階大会議室で公開により実施した。



ポスターレビュー

① 政策提案名： **千葉県学生企業マッチングカフェ**

グループ名：WE LOVE NARASHINO（東邦大学）

事業概要：学生が格安で利用でき、また、企業の会社説明会・就職イベント、企業とのラフコミュニケーションなどが開催できるカフェを開設。

② 政策提案名： **学生ベンチャー支援プログラム**

グループ名：東邦大学起業支援班（東邦大学）

事業概要：学生が習志野市内での段階的な起業体験（起業のイロハを学習、プチ起業体験、創業支援プログラム参加）を行う機会を提供。

③ 政策提案名：**OPP 計画(Okubo Pedestrian Plan)**

グループ名：夢見る男達（東邦大学）

事業概要：大久保商店街を一定時間、車両通行止めにし、歩行者の安全性の確保、朝方の商店街の利用者の増加を目指す。

④ 政策提案名：**習志野市の熱環境改善**

グループ名：日本大学生産工学部 測量学研究室（日本大学生産工学部）

事業概要：公的な場所における「緑のカーテン」や「照明の節電」、「打ち水」の実施のほか、市内北東部に大規模な公園を建設・運用することで熱環境の改善を図る。

⑤ 政策提案名：**我々ならしの学生消防団応援隊**

グループ名：FIRE BOYS（千葉工業大学）

事業概要：消防団のパワーを活用した市民と学生のコラボとして、大学生が地域の消防団等に参加する「地域防災の担い手育成プロジェクト」等を行う。

⑥ 政策提案名：**無人・無施設・無期限貸出の図書館機能を備えた屋外共有書架の運用**

グループ名：日本大学広田研究室（日本大学生産工学部）

事業概要：新たな図書館機能のあり方として、住民である利用者とボランティア、学生、習志野市が相互に連携し、運営する屋外共有書架の設置を行う。

⑦ 政策提案名：**地域連携センター（仮）**

グループ名：地域連携センター設置委員会（千葉工業大学）

事業概要：大学に地域に関する窓口を設置することで、学生が組織として地域課題に参画することのほか、地域住民との異世代交流の機会の創出を目指す。



表彰後記念撮影



ポスターセッション

※来場者数は、74 名（うち一般来場者 35 名、発表学生 24 名、市職員 15 名）で、参加学生からは他大学学生の提案や来場者の意見に対し、非常に参考になった等の感想があった。

また、来場者からは学生の発想力を評価する意見や実現に向けての市への期待のほか、ポスターセッション形式を評価する意見があった。